

ひかるさつまいも

団体名●ひかるさつまいも（牧野ゼミナール）／代表者名●小林 龍（経済学部経営学科3年）

はじめに(背景・目的・目標)

私たちひかるさつまいもの活動目標は、「renkを通してSDGsに貢献する」である。この「renk」とは合同会社YOU様×ひかるさつまいものオリジナルブランドでもう一度の意味合いがある「re」とLINK(繋がる)をかけ合わせたのが由来である。

今回そこから発売される商品は本来廃棄されるはずだった、五郎島金時の葉を使用している。廃棄される葉は、1年で2トンもの量になり、それを何とか再利用できないかという事で合同会社YOU様が調査を依頼したところ葉の中に美容成分を発見した。そして、その成分を使用した商品を開発し、その商品のプロモーション活動を牧野ゼミで手伝ってみたいかという事でこの取り組みが始まった。

活動内容

私たちひかるさつまいもの活動としては合同会社YOU様とタッグを組み化粧品のパッケージデザインを作り、実際に商品を実店舗に販売する流れで販促活動を実体験するというものだ。

五郎島金時の農家であるかわに様に取材を行い、五郎島金時がどういうものかを実際に触れることで体験した。その体験からプレスリリースを発信し新聞やテレビ番組の取材を受けプロジェクトの知名度向上に貢献。更に知名度を上げるためにプロジェクト用のインスタグラムを開設し積極的に広報活動を実施。更にはプロジェクトの成果発表の機会も与えられ、様々なイベントに出展し発表を行った。

また支援を募る目的としてクラウドファンディングを実施し多くの方に共感していただき、ご支援を得ながら活動を行っている。

成果、結果の考察

テレビ出演や新聞の取材、エコデザイン賞2023でのスピーチを前期に行った。特にエコデザイン賞2023では資源循環賞を受賞した。このような結果を残せたのは、実際に現地で行ったさつまいも農家でのフィールドワークを通して農業の苦悩や産業廃棄

物の実態を知れたことと、商品ができるまでのきっかけや特徴を合同会社YOU様の松村様と密なコミュニケーションを取ることで、商品のセールスポイントを明確にできたからだと考える。

今後の課題、展望

現状としてはパッケージデザインを考案し提出するところまでを行ったところである。そこから実店舗で販売できるものとするためにデザインを更に販売に向けて仕上げていく必要がある。また今後の大きなタスクとして販売店でのレイアウト考案をしていかなければならない。また実際に商品を販売するにあたって知名度を更に上げていくために、販売に向けてこれまで以上に広報活動を行う必要がある。

今年度活動していく中で初めてで慣れないことも多く、上手いいかないことや戸惑いや難しさも感じながら活動であった。来年度の2年目の活動ではプロジェクトの集大成を懸けた年でもあるため、大成功で2年間の大きなプロジェクトを終われるように来年度も一同で全力で頑張っていきたい。

